

ともに考える国語の授業づくり・春

東京学芸大学附属小学校の教員が結集！

4月からの国語の授業開き・授業の在り方を問い直す

Saturday, March.26, 2022

Time 9:00-11:20 (8:40 Permission to enter the zoom)

9:00- 9:10 趣旨説明

9:10-10:10 ワークショップ①～⑥

10:20-11:00 講演

11:00-11:10 質疑応答

11:10-11:20 アンケート

ワークショップ①

1年 大村幸子先生

東京学芸大学附属小金井小学校

説明文「じどう車くらべ」

批判的思考を働かせて読むことを目指した実践－

「くらべてなっとく！じどう車くらべ」を紹介いたします。

小学校1年生の学びの姿を通して、

説明的文章の指導の要諦を

考えていきましょう。

ワークショップ④

4年 今村 行先生

東京学芸大学附属大泉小学校

「スパイダー討論を参考にした話し合い活動」

『最高の授業 スパイダー討論が授業を変える』

(アレクシス・ウィギンズ著)を参考にした、話し合

い活動の実践提案です。中学年からでも、自分

達で話し合いを進行し、本質的な問いを

作っていく姿をご紹介します。

ワークショップ②

2年 曾根朋之先生

東京学芸大学附属竹早小学校

物語文「ふきのとう」「スーホの白い馬」

この2つの教材を比べると、文字数は約5倍に

なります。具体的な実践から、着目すべき言葉を

知り、文字数が多くなっても子供が楽しく

学べる授業を一緒に

考えましょう！

ワークショップ⑤

5年 土屋晴裕先生

東京学芸大学附属大泉小学校

「探究的に短歌・俳句をつくる」

「俳句」を通して、国語科で探究的な学びを推進してい

くためにはどのようにしていったらよいのか、そして、

令和4年度に受け持つ子供たちを探究的な

ものの見方や考え方ができる子供たち

に育てていくための方法について

一緒に考えていき

ましょう。

ワークショップ③

3年 高須みどり先生

東京学芸大学附属竹早小学校

「マイ詩集を作ろう」

教師による様々な詩の読み聞かせをきっかけに、

詩と出合わせ、音読や詩集の中から好きな詩を見つける

楽しさ、詩を創作する楽しさを味わわせることを意識しました。

これらの活動を通して、子供たちは自分で詩の修辞法を見つけ、

新しい表現の方法を手に入れたことを自覚し、

経験として積み上げました。

講演

東京学芸大学

教授 中村 和弘先生

演題

「これからの国語科教育」

ワークショップ⑥

6年 大島静恵

東京学芸大学附属世田谷小学校

物語文「帰り道」

学習材の魅力を皆さんと一緒に分析しましょう。

子供たちが立てた問いから

どのような読みが展開されるのか。

実践をもとにご紹介

します。

申込み：本校 HP より <http://www.setagaya-es.u-gakugei.ac.jp/>

定員：300名 費用：無料 主催：東京学芸大学附属世田谷小学校国語部

